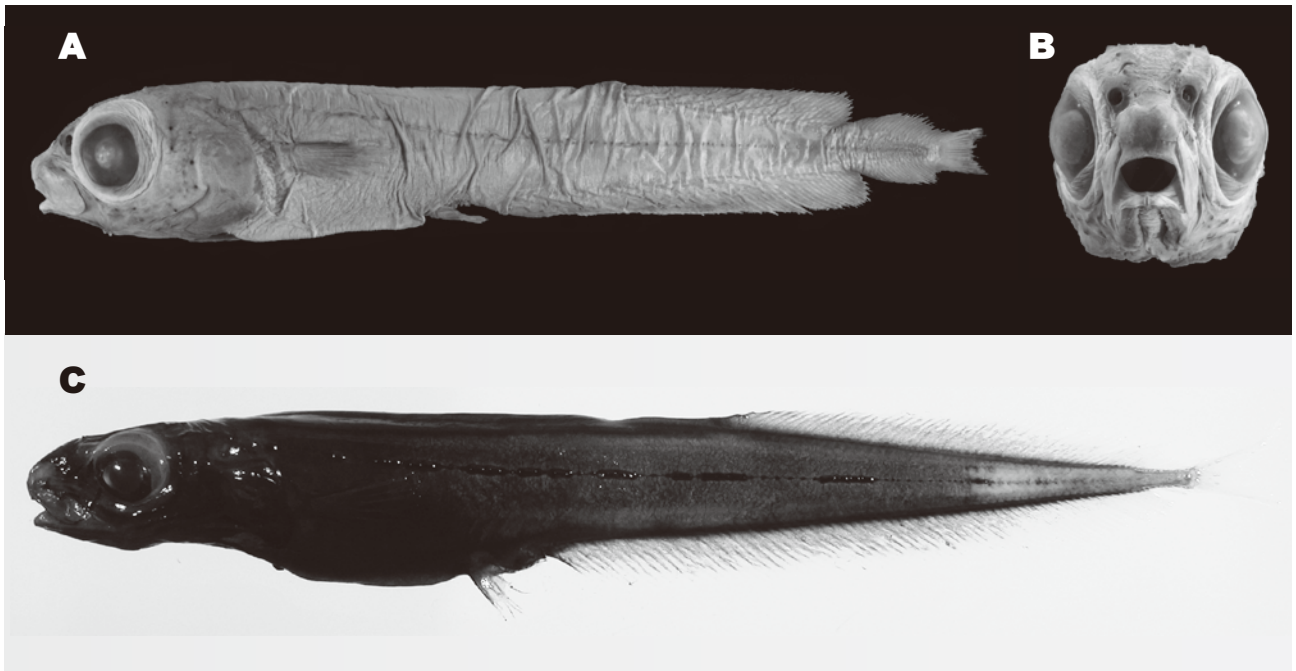


## セクトリイワシ科 ナメライワシ *Leptoderma lubricum*

高見宗広



A ナメライワシ *Leptoderma lubricum* 体長 225 mm, B ナメライワシの頭部正面,  
C ヤセナメライワシ *Leptoderma retropinnum* 体長 173 mm

ナメライワシ *Leptoderma lubricum* はニギス目セクトリイワシ科ナメライワシ属に属し、インド洋・西太平洋の水深約1000～1700 mに分布する深海底棲性の魚類です。本種は著しく伸長する体、背鰭起部より前方に位置する臀鰭起部、背・臀鰭と尾鰭（尾鰭不完全鰭条）との境界が明瞭であること、側線が乳頭状であること、背鰭が34～39軟条、臀鰭が50～57軟条などによって特徴づけられています。

*Leptoderma*（薄い皮膚）という属名の通り薄紫色の薄い皮膚によって全身が覆われており、斜め下前方を向く大きな眼とおちよぼ口を持つことも相まって非常にユニークな顔つきをしています。

ナメライワシ属は、日本周辺海域からナメライワシとヤセナメライワシ *Leptoderma retropinnum* の2種が報告されています。ヤセナメライワシはナメライワシによく似ていますが、背・臀鰭と尾鰭（尾鰭不完全鰭条）との境界が不明瞭であること、側線が管状の変形鱗であること、背鰭が45～50軟条、臀鰭が65～69軟条であることによって容易に識別できます。駿河湾には両種がともに分布しており、ナメ

ライワシは水深約1000～1500 m、ヤセナメライワシは水深約600～1000 mで採集されることが多く水深によって棲み分けをしているようです。駿河湾には比較的多くいるようで、両種の分布水深の海底近くをプランクトンネットで曳網するとほぼ毎回のように採集されます。

ナメライワシとヤセナメライワシの仔稚魚は、多くの海産魚類の仔稚魚が表層近くでプランクトン生活をしているのに対し、海底近くで成魚と同所的に分布しており、一生を深海域の海底付近で過ごすことがわかっています。また、ナメライワシの仔稚魚は、成魚よりも分布水深が浅く、ヤセナメライワシと同所的に分布しています。両種の卵巣卵を調べたところ、成熟卵は卵径が3.1～3.6 mmと大きく、その卵数が22～69個と少ないことがわかりました。また、ナメライワシは調査個体数が少ないためわかりませんでした。ヤセナメライワシは卵黄を有する仔魚と成熟卵を有したメスが年間を通して確認されることから周年産卵であると思われる。